行政･地域･民間が連携して空き家問題解決に取り組む仕組みの構築　宇多津町空き家サポートネットワーク（一般社団法人空き家コミュニティ）

別添資料

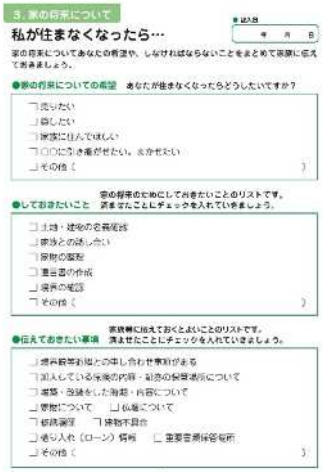
課題	町として空き家等対策計画を策定しているが、具体的に取り組めておらず、空き家に関する相談は、老朽化し取り壊すしか方法がない段階であることが多い。啓発活動として、広報やHPで行っているが、空き家バンクの登録数も少ない。
目的	町役場内に住民が安心して相談できる窓口を設置し、誰に相談したらよいのか悩んでいる空き家所有者に対し、行政と専門家等が連携して、個々の問題についてワンストップでサポートを行うネットワークを整備することを目的とする。また、今後空き家問題を抱える恐れのある所有者への啓発ツールとして、書き込み式空き家ガイドブックを作成し、早めの空き家対策を講じることで、空き家問題を減らすことを目指す。
取組内容	①空き家サポートネットワークの設立･運営　②空き家相談員の育成及び相談窓口の設置･運営③書き込み式ガイドブックの作成④町民向けセミナーの開催⑤空き家調査をベースとした「活かせる空き家のマッチングシステム」の構築
成果	○空き家相談窓口及び空き家サポートネットワークの設立○書込み式ガイドブック「～空き家で困らないために～住まいの未来を考えるノート」の作成○町民向けセミナー&無料相談会の開催

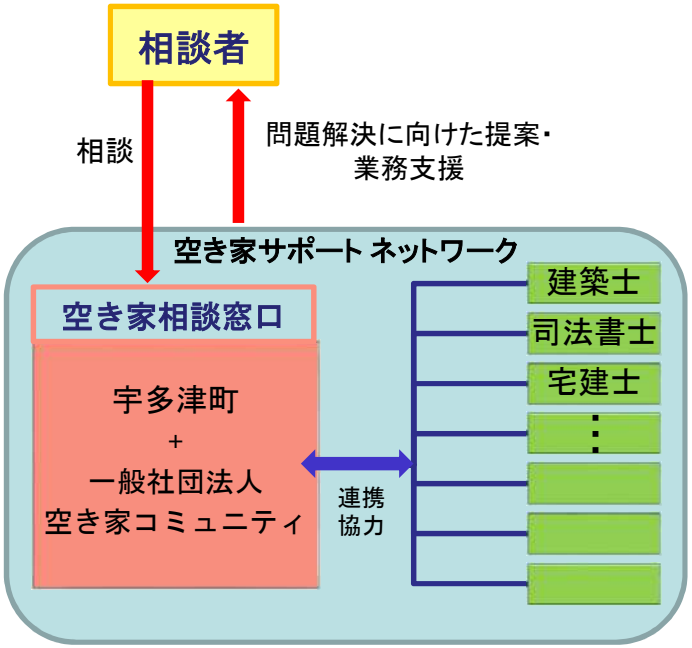
○空き家相談窓口及び空き家サポートネットワークの設立

相談者が安心して相談できる窓口を町役場に設置し、行政と専門家等が連携して、ワンストップで個々の問題についてサポートを行う。12件の相談に対し提案書を提出。うち２件空き家バンクに登録し、2件とも売買契約締結完了済。

○書込み式ガイドブック

「~空き家で困らないために~住まいの未来を考えるノート」の作成



○町民向けセミナーの開催

空き家対策･家財整理をテーマにセミナー及び無料相談会を開催